

東京慈恵会医科大学活動報告

概略

平成17年度に、本学における漢方医学教育の充実を目的に愛宕漢方医学研究会を発足させた。この研究会には各科の責任者が参加し、教育機関である大学としての漢方教育のあり方について、大学や病院の組織を越えた検討の展開が期待できる体制をとっている。

組織構成

1) 愛宕漢方医学研究会

代表世話人 川村 将弘 (平成19年度まで)
 教学委員長・薬理学教授
顧問 栗原 敏 理事長・学長
顧問 石川 友章 薬理学客員教授
事務局 法橋 建 総合診療部教授
会計 落合 和徳 副院長・産婦人科教授
(平成20年度から代表世話人は落合和徳教授)

2) 附属病院総合診療部漢方外来

客員教授 石川 友章
診療医長 萬谷 直樹
リサーチレジデント 古賀 実芳
見学生 小林 康隆
助手(研究協力) 田部井 功

教育と臨床

愛宕漢方医学研究会では、漢方医学の啓発と漢方医学教育を担う人材の育成を視野に入れ、学外から講師を招き学内外を対象とした研究会を年2回、学内医師・学生を対象とした勉強会を年6回開催している。

また、臨床実地研修の場として専門外来の整備は急務であり、平成18年11月に総合診療部に漢方専門外来を設置した。現在は、院内紹介を受ける形で週2~4回午後のみ診療体勢で行っている。患者や医師からの需要の増加に伴い、診療枠の増設を予定している。診療においては、漢方医学を広く学び実践できるように、漢方薬は生薬による煎じ薬とエキス剤から選択でき、いずれも保険で処方できる体勢にしている。なお、当院は日本東洋医学会専門医制度研修指定施設に登録されており、現在は、学内の皮膚科医師が見学生として週に半日学んでいる。

既に独自に東洋医学を取り入れている皮膚科やペインクリニックなど、他の診療科との連携や、今後の漢方医学教育と臨床・研究を見据えた組織編成について、愛宕漢方医学研究会を中心として検討が重ねられている。

学生教育

医学部医学科では、1年次で総論2単位(1単位90分)、2年次に薬理学の中で漢方医学系統講義を4単位行っている。平成20年度からは従来の講座の枠を越えた教育内容をユニット化するようカリキュラムが再編され、漢方医学は3年次に「和漢薬講座」として6単位が集中して講義される。

研究

平成19年の日本東洋医学会総会では、外科と漢方外来が協力し、田部井が「乳癌内分泌療法で発生する副作用に対し桂枝茯苓丸が有効だった一例」を報告した。古賀は、落合和徳教授の指導の下、漢方診断を用いた西洋医学治療の再評価について臨床研究を行っている。

学会活動

平成21年に行われる第60回日本東洋医学会学術総会は、石川友章客員教授が会頭、落合和徳教授が準備委員長の重責を担う。大学の協力も得て、総会成功に向けて準備を進めている。

論文

1) 萬谷直樹、山口力威、関口由紀：甘草減量により偽アルドステロン症が軽快した2例、日本東洋医学雑誌58(2)、273-276、2007

著書

- 1) 萬谷直樹：虚血性腸炎と大建中湯。EBM漢方第2版、医歯薬出版：66-67、2007
- 2) 萬谷直樹：過敏性腸症候群と桂枝加芍薬湯・平胃散。EBM漢方第2版、医歯薬出版：68-72、2007
- 3) 萬谷直樹：腹痛と当帰四逆加呉茱萸生姜湯・芍薬甘草湯・甘草湯。EBM漢方第2版、医歯薬出版：73-77、2007
- 4) 萬谷直樹：便秘症と大黄甘草湯・防風通聖散。EBM漢方第2版、医歯薬出版：78-82、2007
- 5) 萬谷直樹：肛門疾患と乙字湯・芍薬甘草湯。EBM漢方第2版、医歯薬出版：83-86、2007
- 6) 落合和徳。編著 卵巣腫瘍のすべて (株)メディカルビュー社 2006年9月20日 第1版第1刷発行
- 7) 落合和徳。日本語版監修。暮らしの医学大百科 第1巻 人体のしくみ。ユーキャン。2006；P248 -311.
- 8) 落合和徳。日本語版監修。暮らしの医学大百

科 第3巻 診断と治療2. ユーキャン. 2006; P98 -171.

- 9) 古賀実芳：臨床レポート「舌痛症の経過中に猪苓湯が奏効した1例」、伝統医学Vol. 11, No. 1、東洋学術出版社2008

学会発表

- 1) 田部井功¹⁾、古賀実芳²⁾、落合和徳³⁾：乳癌内分泌療法で発生する副作用に対し桂枝茯苓丸が有効だった一例。第58回日本東洋医学学会学術総会。広島。2007年6月16日

講演

- 1) 萬谷直樹：「基礎理論から実践へ」。医師のための漢方勉強会。横浜。2007. 5. 8
- 2) 古賀実芳：「女性診療における漢方薬の役割～痛み治療を中心に～」。東京漢方教育センター2007年度講座。東京。2007. 6. 10.
- 3) 萬谷直樹：「陰陽虚実・六病位と呼吸器疾患」。医師のための漢方勉強会。横浜。2007. 7. 10
- 4) 古賀実芳：漢方薬を使ってみましょう①「オリエンテーション・総論」。第1回愛宕漢方ナイト2007。東京。2007. 7. 20.
- 5) 萬谷直樹：「漢方薬の服薬指導・副作用」、医師のための漢方勉強会、横浜、2007. 9. 11
- 6) 古賀実芳：漢方薬を使ってみましょう②「八綱・六病位・かぜ」。第2回愛宕漢方ナイト2007。東京。2007. 9. 21.
- 7) 萬谷直樹：「痛みに対する漢方の捉え方と処方」、第20回座間漢方研究会、座間、2007. 9. 19
- 8) 古賀実芳：「『冷え』を誤解していませんか？～体質に合わせた冷え解消法とは～」。第34回女性誌医療記者懇話会。東京。2007. 10. 15.
- 9) 古賀実芳：「日常診療にすぐに使える漢方薬」－確実な効果が早期に期待できる処方解説－。玉川医師会学術講演会。東京。2007. 10. 17.
- 10) 古賀実芳：漢方薬を使ってみましょう③「気血水、倦怠感・冷え・むくみ」。第3回愛宕漢方ナイト2007。東京。2007. 10. 19.
- 11) 萬谷直樹：「主要徴候の診断・四診」、医師のための漢方勉強会、横浜、2007. 11. 13
- 12) 古賀実芳：漢方薬を使ってみましょう④「五臓」。第4回愛宕漢方ナイト2007。東京。2007, 11, 16.
- 13) 古賀実芳：漢方後世要方解説「藿香正気散と人参養胃湯」。温知会月例会。東京。

2007. 11. 17.

- 14) 萬谷直樹：「風邪にこそ漢方-六病位と風邪」、第21回座間漢方研究会、座間、2007. 11. 28
- 15) 古賀実芳：漢方薬を使ってみましょう⑤「日常診療ですぐに使える基本処方。第5回愛宕漢方ナイト2007、東京。2008. 1. 18.
- 16) 古賀実芳：「病人を診る漢方～漢方外来診察室より～」。東葛漢方ナビゲーションin柏。千葉。2008. 1. 26.
- 17) 古賀実芳：「アトピー性皮膚炎が悪化し引きこもっていた2例」。温知会月例会。東京。2008. 2. 16.
- 18) 古賀実芳：知りたい、聞きたい『漢方のはなし』「知って得する漢方医学の基礎知識」。横浜市港北区医師会区民公開講座。神奈川。2008. 3. 8.
- 19) 古賀実芳：「女性の漢方」。玉川医師会学術講演会。東京。2008. 3. 19.

その他

- 1) 萬谷直樹：漢方薬でシェイプアップ。日経ヘルス4月号、日経BP社：48-51、2007
- 2) 古賀実芳：対談「感冒」、P&M(Pharmacy and Medicine)Kampo, 2007, Vol. 12, No. 5, P. 2(58)-17(73)、光原社。2007
- 3) 古賀実芳：「東西の医学で知るアンチエイジングの法則・細胞を潤して若さを保つ」、毎日らいふ Vol. 38, No. 10, P. 10-25. 毎日新聞社、2007
- 4) 古賀実芳：「寒がりータの冷え対策」、ar[アール]Vol. 14, No. 1, p. 147-151、主婦と生活社。2008
- 5) 萬谷直樹：クリニックマスター・ベイサイドクリニック、医療経営2月号、日本医療企画：130-131、2007
- 6) 古賀実芳：「あなたも隠れ冷えではありませんか？」、女性自身Vol. 51, No. 3, p67-72、光文社。2008
- 7) 古賀実芳：対談「花粉症」、P&M(Pharmacy and Medicine) Kampo, Vol. 13, No. 1, P. 2-11. 光原社。2008
- 8) 古賀実芳：「かぜや冷え、身体の不調も整える、漢方医学で健やかに生きる」、パンプキンVol. 18, No. 2, p. 6-16, p. 110-113、潮出版。2008
- 9) 古賀実芳：25歳からのアンチエイジング・「冷え」と「乾燥」改善プロジェクトvol. 2. Ane Can Vol. 2, No. 2, 小学館、2008.
- 10) 古賀実芳：「美的」に過ごす花粉症最前線。美的Vol. 7, No. 11, P. 208-217. 2008.